

# 安全データシート (SDS)

作成日:2017年 11月22日

## 1 製品及び会社情報

製品名 : プロテクトTP  
会社名 : 株式会社トーコー  
住所 : 東京都三鷹市下連雀7-12-25  
電話番号 : 0422-49-1251  
FAX番号 : 0422-42-3077

推奨用途及び使用上の制限 : 主に自動車モール・樹脂用コーティング剤

## 2 危険有害性の要約

### 【GHS分類】

物理化学的危険性	: 引火性液体	区分2
健康に対する有害性	: 急性毒性(経口、経皮)	区分5
	: 急性毒性(吸入:蒸気、ミスト)	区分5
	: 皮膚腐食性・刺激性	区分2
	: 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分2A
	: 生殖毒性	区分2
	: 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	区分3(中枢神経系、腎臓、全身毒性)
	: 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	区分2(血管、肝臓、脾臓)

環境に対する有害性 : 危険有害性の分類に該当するという情報はありません。

\* 記載がない危険有害性は、「区分外」、「分類対象外」または「分類できない」である。

### 【GHSラベル要素】

絵表示 : 

注意喚起後 : 危険

### 【危険有害性情報】

引火性の高い液体及び蒸気。  
飲み込むと有害のおそれ。  
蒸気やミストを吸入すると有害のおそれ。  
皮膚刺激。  
眼刺激。  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。  
中枢神経系、腎臓、全身毒性の障害のおそれ。  
長期又は反復暴露による血管、肝臓、脾臓の障害のおそれ。

### 【注意書き】

#### 【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまでは取り扱わないこと。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地すること。アースを取ること。  
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
蒸気、ミストを吸入しないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
この製品を使用する時、飲食又は喫煙をしないこと。  
換気の良い場所でのみ使用すること。  
環境への放出を避けること。  
保護マスク、保護手袋、保護衣、保護眼鏡等を着用すること。

#### 【応急措置】

火災の場合 : 消火に適切な消火剤を使用すること。  
皮膚(または髪)に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

	皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合、医師の診断を受けること。
吸入した場合	： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断を受けること。
眼に入った場合	： 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断を受けること。
[保管]	換気の良い場所で保管すること。 直射日光を避け、涼しい所に置くこと。
[廃棄]	容器を密閉し、施錠して保管すること。
[その他の危険有害性情報]	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。
	本品は水および酸、アルカリ化合物と緩やかに反応して(加水分解)、下記化合物を生成する。 メタノール
[想定される非常事態の概要]	熱、火花または炎で発火する可能性がある。

### 3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

組成及び成分情報 :

化学名又は一般名	CAS番号	化審法*1	安衛法*2	含有量
シリコンオリゴマー	非公開	非公開	—	非公開
アルミニウムキレート化合物	非公開	非公開	—	非公開
イソプロピルアルコール	67-63-0	(2)-207	No.494	50%
メタノール(分解生成物)	67-56-1	(2)-201	No.560	非公開

\*1 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 官報公示整理番号

\*2 労働安全衛生法 第57条の2 名称等を通知すべき有害物質 政令番号

### 4 応急処置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動する。

症状が悪化したり継続したりする場合は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。皮膚を石鹼と水で洗うこと。

症状が続く場合、医師に連絡すること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。

その後も洗浄を続けること。

症状が続く場合、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。

無理にはき出させず、直ちに医師の診断を受けること。

応急措置をする者の保護 : 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。

医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気を付けさせる。

医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じて処置すること。

### 5 火災時の措置

適切な消火剤 : 周辺火災に応じて粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

使ってはならない消火剤 : 水。

火災時の特有の危険有害性 : 加熱および火災により有害な蒸気、ガスが生成されることがある。

特有の消火方法 : 火災や爆発の場合、フュームを吸入してはならない。

もし危険を冒さずにできる場合は、火災区域から容器を移動させる。

消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

### 6 漏出時の処置

【人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置】

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具を着用する。

閉鎖された場所に入る時には事前に換気を行う。

【環境に対する注意事項】

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境への流出を避ける。

- 【封じ込め及び浄化の方法・機材】 全ての着火源を取り除く（その場での喫煙、炎、スパークまたは火災は禁止）。  
可燃性物質（木材、紙、油など）を流出物から遠ざける。  
回収した本品を使用することは絶対に避けること。
- 多量の流出 : 危険を伴わずにできる場合、物質の流れを止める。  
可能な場合、漏出物が広がるのを防止すること。  
プラスチックのシートで覆い、拡散を防止する。  
バーミキュライト、砂、土などの不燃性材料を用いて製品を吸収し、廃棄のため容器に収める。  
水路、下水道、地下または密閉地域への流入を防ぐ。
- 少量の流出 : 布等の吸収材で拭き取る。  
残った汚染を除去するために床をよく清掃すること。

## 7 取扱い及び保管上の注意

### 【取扱い】

- 技術的対策 : 製品を取り扱う時に使用するすべての装置を接地すること。  
火花を発生させない工具および防爆型装置を使用する。  
換気のよい場所でのみ取り扱うこと。
- 安全取扱注意事項 : すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。  
裸火、熱源または発火源の近くで取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。  
静電気の放電防止策を施す。  
保護具を着用すること。  
この製品を使用する時、飲食や喫煙をしないこと。  
ミストや蒸気を吸入しないこと。長時間の暴露をさけること。  
妊娠中、授乳期中は接触を避けること。  
直射日光を避ける。  
取扱い後は手をよく洗うこと。

### 【保管】

- 技術的対策 : 保管場所には危険物を貯蔵し、取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。
- 適切な保管条件 : 施錠して保管すること。  
熱、火花、裸火から離して保管する。  
直射日光を避け、涼しく乾燥した場所で保管する。  
換気の良い場所で保管する。  
容器を密閉しておくこと。
- 混触危険物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。
- 安全な容器包装材料 : 元の容器で保管する。

## 8 暴露防止及び保護措置

- 【管理濃度】 【作業環境評価基準】 200ppm（イソプロピルアルコール）
- 【許容濃度】 【日本産業衛生学会】 400ppm (980g/m<sup>3</sup>)（イソプロピルアルコール）  
\* 但し、加水分解による生成物 : メタノール 200ppm

- 【設備対策】 防爆型の全体および局所排気型換気装置。  
洗眼設備を設置する。

### 【保護具】

- 呼吸器用保護具 : 蒸気が発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 保護手袋を着用する。
- 目の保護具 : 側板付き安全眼鏡(またはゴーグル)を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

## 9 物理的及び化学的性質

- 外 観 : 無色透明液体
- 臭 い : 特有の臭気
- 引火点 : -10℃（密閉式） 【シリコンオリゴマー】
- 発火点 : 200℃以上 【シリコンオリゴマー】
- 沸 点 : 82℃ 【イソプロピルアルコール】
- 比 重 : 0.86 (20℃)
- p H : 7.0±0.5 (中性)
- 溶解度 : 水に難溶（加水分解性あり）

---

## 10 安定性及び反応性

- 反応性、化学的安定性 : 通常の取扱い条件下では安定である。
- 危険有害反応可能性 : 通常取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
- 避けるべき条件 : 日光、熱、高い温度、スパーク、静電気、その他発火源。
- 混触危険物質 : 水及び酸、アルカリ化合物
- 危険有害性分解生成物 : 本品は水および酸、アルカリ化合物と穏やかに反応して(加水分解)、下記化合物を生成する。
- メタノール
- 加熱又は燃焼により、下記の分解生成物を発生する可能性がある。
- 一酸化炭素、二酸化炭素等の酸化炭素類、不完全燃焼により生成する微量の炭素化合物。二酸化ケイ素。ホルムアルデヒド。

---

## 11 有害性情報

- 【製品の有害性情報】 データなし
- 【成分の有害性情報】
- 急性毒性 : 【区分5】は、シリコーンオリゴマーに起因する。  
急性毒性（経口）ラット LD50 = 4,235 mg/kg
- 皮膚腐食性・刺激性 : 【区分2】は、イソプロピルアルコールに起因する。  
皮膚刺激 ウサギ 500mg 軽度 (RTECS)
- 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : イソプロピルアルコールは【区分2A】に分類されており、含有率が50%であるため【区分2A】とした。
- 呼吸器感作性 : データなし
- 皮膚感作性 : データなし
- 生殖細胞変異原性 : データなし
- 発ガン性 : データなし
- 生殖毒性 : 【区分2】は、イソプロピルアルコールに起因する。  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い。
- 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 【区分3】は、イソプロピルアルコールに起因する。  
中枢神経系、腎臓、全身毒性の障害のおそれ。
- 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 【区分2】は、イソプロピルアルコールに起因する。  
長期又は反復暴露による血管、肝臓、脾臓の障害のおそれ。
- 吸引性呼吸器有害性 : データなし
- その他の情報 : 本品は水および酸、アルカリ化合物と穏やかに反応して(加水分解)、下記化合物を生成する。
- メタノール

---

## 12 環境影響情報

- 【製品の環境影響情報】 データなし
- 【成分の環境影響情報】
- 生態毒性 : データなし
- 残留性・分解性 : データなし
- 生体蓄積性 : データなし
- 土壌中の有害性 : データなし
- オゾン層への有害性 : データなし

---

## 13 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 焼却処理。但し、高引火性の為ご注意ください。  
焼却の際、シリカの微粉が生成いたしますので適切な設備で焼却して下さい。  
必要に応じて、防塵マスク等の保護具を着用して下さい。  
本品を下水や給水設備に流さないこと。  
廃棄においては、関連法規制並びに地方自治体の基準に従うこと。
- 汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後、関連法規制並びに地方自治体の基準に従うこと。

---

## 14 輸送上の注意

### 【国際規制】

陸上輸送（ADR/RID の規定に従う）

国連番号：UN 1993

品名：その他の引火性液体（シリコーンオリゴマー）

国連危険物分類：クラス3（引火性液体）

副次危険性：非該当

容器等級：II

海上輸送（IMO の規定に従う）

国連番号：UN 1993

品名：その他の引火性液体（シリコーンオリゴマー）

国連危険物分類：クラス3（引火性液体）

副次危険性：非該当

容器等級：II

海洋汚染物質：非該当

IBCコード：非該当

航空輸送（ICAO/IATA の規定に従う）

国連番号：UN 1993

品名：その他の引火性液体（シリコーンオリゴマー）

国連危険物分類：クラス3（引火性液体）

副次危険性：非該当

容器等級：II

### 【国内規制】

国内輸送については「15. 適用法令」の規制に従うこと。

### 【緊急時応急措置指針番号】

128

---

## 15 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：法第57条の2 名称等を通知すべき有害物質

No.494（イソプロピルアルコール）、No.560（メタノール；分解性生物）

消防法：引火性液体 第4類第1石油類（非水溶性）、危険等級II

化学物質管理促進法（PRTR法）：非該当

---

## 16 引用文献

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム（CHRIP）

[http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip\\_search/systemTop](http://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)

日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性があるため、取扱いには細心の注意が必要です。

御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

また、特別な取扱いをするときは、その場の使用環境に応じて安全対策を実施してください。